



未来の先生展
2017

これからの教育と国際バカロレア

～若者の未来を明るくするために～

講演

開催日時 2017年 8月 26日(土) 10:00-11:30

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館3F 305号室

講演者 教育ジャーナリスト 後藤 健夫

内容

いまの小学生たちは22世紀まで生きるかもしれない。予防医学が発達して長寿化が予測される。そして、その一方で、彼らが社会に出て働き盛りとなる頃には、団塊の世代をはじめとする多くの高齢者を少子化の中で生まれた彼らが支えなくてはならなくなる。こうして生産年齢人口はどんどん減少する中で、AI（人工知能）は進化をはじめ、国際社会はますます複雑化していく。地方消滅も現実となるかもしれない。東京一極集中はますます激しくなるかもしれない。これから生きる若者の未来は明るくないかもしれない。彼らの未来を明るくするための唯一の方法はよりよい教育をすることである。こうした状況を踏まえて次期学習指導要領改訂に向けて準備が進んでいる。教育はどう変わるのか。その変貌の姿をイメージするものとして「国際バカロレア（IB）」教育が存在する。今回は、これからの教育を国際バカロレア教育を通して考えてみたい。

ここに注目！

「アクティブ・ラーニング」。いまやバズワードである。

「カリキュラム・マネジメント」。なんなのかさっぱりわからない。

でも、これからの教育を考える上で、重要な用語である。

「主体的・対話的で深い学び」。深い学びってなに？ 浅い学びがあるのか？ そうした疑問にも答える講演となる。



講演者プロフィール



後藤 健夫

教育ジャーナリスト&アクティビスト

大学卒業後、河合塾に就職。独立後は、大学コンサルタントとして、有名大学などの AO 入試の開発、入試分析・設計、情報センター設立等に 関与、塾・高校の進学アドバイザーも。早稲田大学法科大学院設立に入試設計・募集担当として参加。森上教育研究所アソシエイトコンサルタント。Pearson Japan K.K 高等教育部門顧問。『セオリー・オブ・ナレッジ世界が認めた「知の理論」』（ピアソンジャパン）を企画・出版。

講演者から参加者へのメッセージ

*当日のスライドより

「生徒が高度な教育を受けたかどうかは、試験で何点取れるかではなく、まったく新しい状況で何ができるかによって確かめられる」
(国際バカロレア 初代事務局長 アレック・ピーターソン)

知識よりも問題解決